

第 10 分科会（講義形式）

大学職員の高度化と流動性（職員の人材育成）

概要：

大学の業務が複雑化・高度化する中で、URA や UEA など、教員と職員の間立つ中間職人材のニーズの高まりや、職員から教員へのキャリアパスなど様々な変化が見られる。このことは、教員と職員という役割や職務を考え直す機会にもつながる。本分科会では、大学職員から大学教員に転身した人材に焦点を当て、自身の職務経験を踏まえた①キャリアチェンジのきっかけ、②職種が変わったことで見える大学の状況、③自身の研究と大学業務の関係性、④望ましい教職協働像などを多角的に語ってもらい、それを踏まえて類型パターンを紹介する。

<プログラム>

- 14:00-14:10 趣旨説明 南 了太氏 京都精華大学 国際文化学部 准教授
- 14:10-14:40 講演 1 村山 孝道氏 京都文教大学 総合社会学部 准教授
- 14:40-15:10 講演 2 谷ノ内 識氏 大正大学 地域創生学部 教授
- 15:10-15:40 講演 3 山咲 博昭氏 奈良女子大学 高等教育研究・支援センター 准教授
- 15:40-15:50 休憩
- 15:50-16:25 ディスカッション
- 16:25-16:30 まとめ